

藤井家文書

この記録文章の作者である藤井家は、1700 年代初頭に現在の白川村のすぐ北に位置する、現在の富山県南砺市の一部である赤尾集落から白川郷に移ってきたと考えられている。1820 年代になると、当主は鳩谷、内ヶ戸、加須良の 3 村を管轄する名主の地位を与えられた。藤井家の記録は、徳川幕府の長期にわたる安定した平和な時代が終わりに近づいていた 1800 年代半ばから後半にかけての名主の地位と職務を、歴史家がよりよく理解するのに役立っている。